

二 新編集委員の選定

高知県十和村において十月十一日に開催された、九〇年度第一回の村研運営委員会において新しい村研年報の編集委員が決定されました。そのお名前は次の通りです。

安孫子謙	磯辺俊彦	大野晃	柿崎京一
小池基之	嶋田隆	高山隆三	高橋明善
田原音和	中田実	蓮見音彦	長谷川昭彦
布施鉄治	松本通晴	安原茂	吉沢四郎

三

村研年報二七集の第一回編集委員会

村研年報二七集の第一回編集委員会が十一月十七日に開催され、次のようなことが決定されましたので、お知らせいたします。

(一) 編集委員の役割分担

新たな役割分担として、代表幹事 長谷川昭彦、事務局 吉沢四郎が選ばれました。今から二年間この体制で年報の編集に当たることになりました。

(二) 研究動向執筆者の決定

第二七集の研究動向の執筆者が次の方々に決まりました。会員諸氏の最近の業績の抜刷りやコピーを次の方々に送って下さるよう、お願ひいたします。

〈研究動向〉

一 史学・経済史学

大島真理夫 大阪市立大学
十五五七二 大阪府枚方市伊加賀西町五五一一
(電話〇七一〇一四六一五四五一)

《村研年報編集委員会より》

一 村研年報第二六集の発行

村研年報第二六集が十月に出来上がり、農文協（農山漁村文化協会）から発行されました。表題は、昨年度の共通課題のサブテーマの『転換期の家と農業経営』となりました。定価は四八〇〇円ですが、農文協からのお知らせにありますように、村研会員には割引がありますので、まだ購入しておられない方はなるべく早くお求めください。

二 経済学・農業経済学

池上甲一 京都大学

三 社会学・農村社会学

橋本和幸 金沢大学

四 外国研究(アメリカ)

河村能夫 竜谷大学経済学部